



学薬のひろば



Vol. 018

2月6日（豊橋）、13日（名古屋）において講習会を開催させて頂いたところ、両会場ともに大変多くの熱心な先生方のご来場を得て盛況に開催できたことをまずもって御礼申し上げます。また、今回は盛りだくさんの内容で休憩時間もしっかりとれず先生方にはご迷惑をおかけしました。しかし講師の先生方の熱心な講演内容からも、今、いかに環境衛生・くすりの使い方など私たち学校薬剤師が学校において求められ、実際に貢献できるかがご理解して頂けたと思います。処方箋の応需等大変な一面もあると思いますが私たちのこうした地道な取り組みが薬剤師評価のベースに必ず貢献できるものと考えております。これからも先生方のご協力を得て活動に励みたいと考えますのでよろしくお願いいたします。



<2/13 尾張会場：東建ホールにて>

平成16年度 愛知県学校薬剤師講習会 報告

<豊橋会場>

愛知県学校薬剤師会理事 杉本 匡

開催日時：平成17年2月6日（日） 12：40～16：30

開催会場：豊橋市民センター（カリオンビル）多目的ホール

愛知県学校薬剤師会会長 大橋伸旭氏の開会挨拶の後、下記5講義が行われた。



内容：

○講義Ⅰ 「天然物由来の色素を用いた脂肪性残留物検査法」

名古屋市学校薬剤師会理事 寺嶋 健二

学校における食器の脂肪性残留物検査で従来使用されてきた食品添加物の一部に発ガン性等が認められたことや食器が着色される問題点があることから、天然由来の色素を用いた方法(クルクミン法、パプリカ法) について検討したとの内容。スパイスとして市販されているパプリカの使用が検査精度もよく、試薬処理の問題点もないため環境にやさしい検査法であるとの報告がされた。



○講義Ⅱ 学級活動「正しい薬の使い方」の実践と学校薬剤師の指導・助言に関する調査結果について

蒲郡市立形原北小学校養護教諭 堀井 道子

愛知県と名古屋市学校薬剤師会で作成中であった「薬剤師が話す くすりのお話」の講演会用プレゼンコンテンツを用いて、6年児童を対象に学級活動(保健指導)を行い、本コンテンツが非常に有効に使用できたこと、及び改善した方が良いと思われる点について報告された。



○講義Ⅲ 「学校環境衛生の基準の改正点について」

愛知県教育委員会健康学習課 大畠 雄二

平成16年2月の「学校環境衛生の基準」の主な改正内容(照度及び照明環境、騒音環境及び騒音レベル、教室等の空気等)について、改善方法・指導方法を含めて説明が行われた。



○講義Ⅳ 「教室内のHCHO濃度の変動と換気」

愛知県学校薬剤師会理事 木全 勝彦

講師の担当校にて数年に渡り観察してきた学校教室でのホルムアルデヒド濃度について、室温との相関性や備品・家具等の影響、換気的重要性について報告された。

○講義Ⅴ 「薬剤師が話す くすりのお話」

愛知県学校薬剤師会理事 樋口 光司

愛知県薬剤師会学校薬剤師部会 部員 山口 一丸

学校薬剤師が児童・生徒に「くすり」について話をし、タバコ・薬物乱用の危険性を教育するだけでなく、健全な自尊心(セルフエスティーム)を育てていくべきとの観点から、講演会用のプレゼンコンテンツを作成した。その内容と講演の仕方、講演の必要性について講義された。



なお、時間の都合上質疑応答は省略されたが、数多くの充実した講義内容であった。なお、引続き翌週の2月13日には尾張会場にて同講習会が開催される。

<尾張会場>

開催日時：平成17年2月13日（日） 12：40～16：30

開催会場：東建本社丸の内ビル 3階 東建ホール

愛知県学校薬剤師会会長 大橋伸旭氏の開会挨拶の後、下記4つの講義が行われた。



○講義Ⅰ 「教室内のHCHO濃度の変動と換気」

愛知県学校薬剤師会理事 木全 勝彦

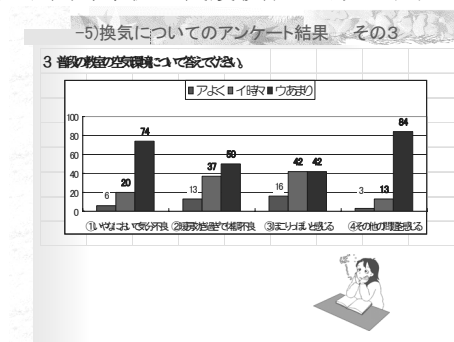
ホルムアルデヒドの「学校環境衛生の基準」、「建築基準法」、「ビル管法」での取り上げ方の違いを中心に、教室での実際の換気の仕方についてあるいは備品等の扱いについて調査結果を基に説明された。

○講義Ⅱ 教育活動としての学校環境衛生活動を目指して

～本校15年間の実践からみえてくるもの～

愛知県豊田北高等学校 養護教諭 深見 真弓

継続的な実践の積み重ねとその評価から次の課題をみつけるとともに、指導型の環境作りを生徒の環境に対する意識作り・行動化に向けてのプラス効果にしていくために視覚に訴えるなどの指導方法の工夫、総合学習・LTでの取り上げなど15年間の実践をもとに話された。



○講義Ⅲ 「学校環境衛生の基準の改正点について」

日本学校薬剤師会 常務理事 村松 學

「詳解 学校環境衛生の基準 解説（バインダー本）」を基に改正点の詳細な説明を話して頂くことができた。特に“教室の空気”については換気を中心にこれからの取り組みと指導助言の重点を解説された。



○講義Ⅳ 「薬剤師が話す くすりのお話」

愛知県学校薬剤師会理事 樋口 光司

愛知県薬剤師会学校薬剤師部会 部員 山口 一丸

学校薬剤師が児童・生徒に「くすり」について話をし、タバコ・薬物乱用の危険性を教育するだけでなく、健全な自尊心（セルフエスティーム）を育てて行くべきとの観点から、講演会用のプレゼンコンテンツを作成した。その内容と講演の仕方、講演の必要性について講義された。